

平成 27 年度宇都宮市立豊郷中央小学校 学校評価書

1 教育目標

「人間尊重の精神」を基盤に、激しい変化が予想される 21 世紀社会の担い手として、「心身ともに健康で、主体的に考え表現でき、ねばり強く頑張りぬき、自らの向上とよりよい社会の発展を目指し、たくましく生きる人間」の育成を図る。

*** 合言葉** ・かしこく ・なかよく ・たくましく

2 学校経営の理念（テーマ）

「子どもの笑顔が輝く学校づくり」

子どもの健やかな成長のためには、学校生活の中で、学習がよく分かる喜び自分の役割が分かり居場所のある喜び友達や先生と心が通い合う喜びを味わわせることが大切であるとする。

そのためには、教職員一人一人が組織の一員としての自覚を持ち、互いを思いやり、居がいのある職場の中で、学校目標達成に向けて同僚性を発揮していくことが望まれる。まず大切にしたいのは「わかる喜び」を実感させることができる指導力を身につけるということである。子どもの学力を育て、心を育てることができる教師でありたい。さらに、保護者や地域への時機を得た発信と共通理解の下での連携を推進し、地域に根ざした教育活動を展開することが大切である。その結果、子ども一人一人の中に自己実現の喜びや自己肯定感などが育まれ、子どもの笑顔と活気のある楽しい学校を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※地域学校園内で共通する方針は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

（1）学校運営の適正化

- 教職員の学校経営への参画意識を高め、課題解決に向けて一人一人が考える組織づくり
- 進捗状況、達成状況の把握と教育活動の工夫改善
- 課題や問題、事故等に対して、組織的かつ迅速に対応
(学年会、いじめ・不登校対策委員会、校内支援委員会)
- 組織内の意思疎通に努め、支え合う職場風土の醸成

（2）教職員の資質の向上

- 1人1授業公開による指導力向上および学びあい
- 人権感覚の高揚、同僚性、協調性の発揮
- 積極的な研修への取組

（3）学校学級経営の充実

- 居がいのある学級づくり
- 子どもの人間関係の構築
- 児童が安心して生き生きとした学校生活を送ることができる環境づくり
- いじめ防止対策の強化

（4）学習指導の充実

- 基礎基本の徹底
- よく分かる授業を目指し、日常の学習指導の一層の改善
- 児童一人一人がよく聞き、互いを認め合い、学び合いのある授業
- 望ましい学習態度・学習習慣の形成
- 読書活動を一層推進

（5）豊かな心の育成

- あいさつや返事の徹底(先手のあいさつ・にこハイ)
- 「命あるものを大切に作る心」、「思いやりの心」を育てる働きかけ
- 豊かな心を育む教育環境の整備・充実

（6）体力の増強と保健安全教育の充実

- 基本的な生活習慣の徹底「よい姿勢」「気をつけ」「視力」
- 児童が主体的に取り組む体力づくり活動を推進(走力・投力・柔軟性強化)
- 食育の充実(担任および栄養士)

（7）児童指導の充実

- 児童の心に寄り添った指導の推進（個々の児童の理解，教育相談）
 - 全教職員の共通理解による同一步調での指導の徹底
 - 人と関わる力や社会性を培う活動の充実
 - ・ 基本的な生活習慣の定着
 - ・ 縦割り班活動などの集団活動や交流教育の充実，ボランティア活動の推進
 - 児童の主体的な活動の推進
 - ・ 特別活動の深化と充実
 - 企画委員会，学年会，校内支援委員会の充実
- (8) 家庭・地域との連携及び聞かれた学校づくり
- 小中一貫教育の推進
 - 魅力ある学校づくり地域協議会，地域人材の活用
 - 積極的な情報発信
 - 効果的な授業参観，オープンスクールの実施

4 今年度の重点目標（短期的視点）※地域学校園内で共通する目標は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- 【学 校 運 営】・子どもの笑顔と活気があり地域に開かれた信頼される学校
- 【学 習 指 導】・教職員や地域の教育力を生かした，基礎・基本の徹底と表現力の育成
- 【道徳教育（児童生徒指導）】・人権尊重を基盤にした，心豊かで思いやりがあり，他人に奉仕できる児童の育成
- 【健康（保健安全・食育）・体力】・健康と安全の意識を高め，何事にも元気にたくましく頑張りぬく児童の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※地域学校園内で共通する取組は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評 価
学校運営の状況	A1 学校全体に活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 児童の肯定的回答90%以上	・ 全教職員が学校生活全体を通して，成就感や達成感を持つことができるように，子ども一人一人に応じた支援やよさを認め伸ばす指導・支援に誠意をもって取り組む。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 92.3% 達成している。昨年度と比べて3ポイント上がっている。 【次年度の方針】 ・ 地域の教育力を取り込みながら，児童の主体的な活動を推進し，一人一人の成就感や達成感をさらに高めることができるように学校全体で取り組んでいく。
	A2 教職員は協力し，児童のよいところを認め教えるべきことを熱心に指導している。 【数値指標】 児童の肯定的回答90%以上	・ 全教職員が共通理解の下，児童のよさを認め励まししながら同一步調で協力して学習や諸活動の教育に当たる。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 96.9% 【次年度の方針】 ・ 今後も全職員が協力して学習や諸活動の教育に当たり，児童の健全育成を図る。
	A3 児童は，授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。 【数値指標】 児童の肯定的回答80%以上	・ 年2回（7月・1月）「 <u>みんなのやくそく強化週間</u> 」を実施し， <u>基本的な生活習慣を朝の会で確認しあい，さらに定着させる。</u> ・ 道徳の授業の充実を図るとともに，日常生活の中で機会を捉えて <u>きまりを守ることの大切さに気づかせる。</u>	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 79.6% 【次年度の方針】 ・ 昨年度より肯定的回答が若干増加し，数値目標に近づいたことから，さらに生活のきまりやマナーについて意識させていくための工夫改善を全職員で取り組んでいく。

A 5 学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる。 【数値目標】 児童の肯定的回答 90%以上	・ 共通理解のもと、いじめは絶対許されないことを指導するとともに、児童の小さな変化にも心を配り、チームで問題解決に取り組んでいる。	【達成状況】 児童の肯定的回答 94.6% 【次年度の方針】 ・ 保護者や地域の肯定的回答の数値が低いので、学校で取り組んでいることを学校便り等で積極的に公表していく。
A 4 教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細やかな指導をしている。 【数値指標】 児童の肯定的回答 90%以上	・ 学習内容の工夫、指導法の改善、効果的な教材の使用や指導体制指導形態の工夫を行い、より分かりやすい授業を展開し学力の向上を図っていく。	【達成状況】 児童の肯定的回答 94.6% 【次年度の方針】 ・ 学校課題研修でいただいた指導や反省をもとに、今後も継続、発展させられるよう、学習内容の工夫や指導法の改善、教材の開発に心がけ、TTや個別指導を効果的に活用して児童の学力向上を図る。
A 6 日課、授業、行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 保護者の肯定的回答 90%以上	・ 週案で時数管理を行うことにより、教育課程が適切に実施されるようにする。 ・ 学校行事の計画を会議等で昨年度の反省を生かす協議を行い、適切な運営が実施できるよう心がける。	【達成状況】 保護者の肯定的回答 98.7% ・ 十分達成している。昨年より 1.5 ポイント上がっている。 【次年度の方針】 ・ 本年度同様、学校経営方針に基づき、本校の児童の実態に即した教育課程を編成するとともに、各種行事・教科学習の充実を図っていく。
A 7 学校は学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供をしている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 90%以上	・ 保護者や地域の方に年 3 回の授業参観や年 2 回のオープンスクール、また学校・学年行事への参加の呼びかけをとおして、学校の様子を見てもらう。 さらに、学校だよりやホームページなどで各教育活動の趣旨や取り組みなどの様子も含め、情報を発信し学校への理解を深める。	【達成状況】 保護者の肯定的回答 97.1% ・ 十分達成している。 【次年度の方針】 ・ 学校便りやホームページなどで「学校の指導重点目標」や「目指す児童の姿」を積極的に示し、それを目指した取り組みや活動、児童の様子を発信していく。また、本年度同様、「開かれた学校づくり」の推進を図っていく。
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 85%以上	・ 保護者や地域のボランティアによる教育活動への支援などをとおして、<u>地域との連携</u>を図っていく。また、効果的な出前授業等を積極的に活用する。	【達成状況】 保護者の肯定的回答 93.7% ・ 十分達成している。 【次年度の方針】 ・ 本年度同様、地域の豊かな施設・人材を生かしながら、学校教育活動の充実を図っていくとともに、感謝の気持ちを育んでいく。
A 9 学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され学習しやすい環境となっている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 80%以上	・ 月 1 回の安全点検を実施し、安全な施設・設備の維持管理に努める。また、教材教具の充実を図り学習しやすい環境を整える。	【達成状況】 保護者の肯定的回答 91.9% ・ 十分達成している。 【次年度の方針】 ・ 児童と教員が共通意識をもって使用教材の返却・整頓を心がけ環境を整えていく。
B 1 教職員は誠実な勤務実践に努め笑顔あふれる潤いのある職場づくりに心がけている。	・ 職員間における協調性と謙虚さを持ちながら、誠実な勤務実践に努め、笑顔あふれる潤いのある職場づくりに一人一人が心がける。	【達成状況】 教職員の肯定的回答 100% ・ 十分達成している。 【次年度の方針】 ・ 研修や打合せの機会を多くし、教職員の協調性を高めながら、使命感と充実感をもって勤務実践に努めるようにする。

教育活動の状況	生 活	A10 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 児童の肯定的回答 80%以上	・ <u>地域ぐるみのあいさつ運動を展開</u> するとともに、校内でも「あいさつ運動」を実施し、教職員が進んであいさつしたり言葉かけをしたりして、気持ちのよいあいさつができるような雰囲気づくりに努める。	A	【達成状況】 児童の肯定的回答 83.3% 【次年度の方針】 ・ 生活向上委員会を中心に「あいさつ運動」を実施しているが、「あいさつ運動」のやり方を工夫改善していく。
		A11 児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている。 【数値指標】 児童の肯定的回答 80%以上	・ 生活全般で、全職員で、 <u>望ましい言葉づかいや相手を思いやる言動</u> などを継続して丁寧に指導する。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 78.1% 【次年度の方針】 ・ 相手を思いやる言動と正しい言葉遣いを常日頃から指導していく。
		B2 人権週間や読書タイムの充実を図り相手を思いやる心を育てている。	・ 人権週間や読書タイムの充実を図ったり、心を育てる指導を工夫したりして、人権意識を高めるとともに、相手を思いやる心を育てる。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 81.1% 【次年度の方針】 ・ 人権週間の実施、読書の本の質を吟味し、常日頃から人権意識について児童に意識させるようにする。
	健康・ 体力	A13 児童は、好き嫌いなく給食を食べている。 【数値指標】 児童の肯定的回答 80%以上	・ 日常の給食指導のほか、各教科での食育との連携を図り、給食を残らず食べようとする気持ちを育てる。また、保護者への啓発を行い、食育の充実を推進する。		【達成状況】 児童の肯定的回答 81.1% 【次年度の方針】 ・ 給食の献立に関して、栄養素が体に及ぼす効果をより意識化させていく。
		A12 児童は、休み時間や放課後などに積極的に運動している。 【数値指標】 児童の肯定的回答 80%以上	・ <u>「とよおうサーキット」を実践</u> し、個に応じた助言を行うことにより、基礎体力の向上を図る。 ・ 学年全体でミニマム達成状況の向上を目指した指導を行う。		【達成状況】 児童の肯定的回答 89.8% 【次年度の方針】 ・ 学年に応じて、継続的に行うことで、習慣化させ、体力向上につなげていく。 ・ 内容の検討をしていく。
		B3 共遊の時間や縦割り活動など体を動かして遊ぶ楽しさを味わわせている。	・ 学級で共遊の時間を設定するなど、体を動かす楽しさを味わわせる。また、縦割り集会では縦割り班で行う楽しい遊びを紹介し、体を動かして遊ぶ楽しさを体験させていく。		【達成状況】 児童の肯定的回答 93.6% 教職員の肯定的回答 100% 【次年度の方針】 ・ 共有スペースや内容（遊び）を検討しながら、更なる充実を図っていく。
	学 習	A14 児童は、授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している。 【数値指標】 児童の肯定的回答 80%以上	・ <u>「できた」「わかった」という実感がもてるような学習活動を工夫</u> する。また、子どものよさや活力を生かした授業の展開を実践する。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 92.1% 【次年度の方針】 ・ 学習のめあてを明確に提示し、自分の考えをしっかりと持たせて話し合いに臨めるようにする。また、振り返りの時間を確保して達成感を味わえるようにする。 ・ 一人一人の考えを認めることにより、自尊感情や学習への意欲を高め、引き続き表現力の育成に力を入れていく。
		A15 児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している。 【数値指標】 児童の肯定的回答 80%以上	・ <u>学習のきまりを継続して指導し、基礎基本の確実な定着に努め</u> るとともに、集中して取り組めるような指導を工夫する。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 86.1% 【次年度の方針】 ・ 学習習慣や技能のより確実な定着を図るとともに、話をよく聞くことができる児童の育成を図る。

本校の特色・課題等	B4 地域の特色を生かした教育活動を進めるために、家庭や地域と連携したふれあい活動を積極的に推進している。	・ <u>地域の文化財や特色を生かした教育活動をさらに充実</u> させるために、年間計画の見直しや事前の計画的な準備、打合せを十分に持ち、効果的な体験活動やふれ合い活動を進めて、地域を理解し親しむ児童を育てていく。	【達成状況】 児童の肯定的回答 89.9% ・ 読み聞かせや各学年での体験活動、見学など、様々な場面で、連携を図った活動を展開することができた。 B 【次年度の方針】 ・ 今後も積極的に企画し、感謝の心の育成との関連を図りながら、児童の地域理解を育んでいく。また、総合的な学習の時間や生活科の授業を通して、地域に密着した単元展開を考えていく。
-----------	---	--	---

【総合的な評価】

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ 多くの項目が肯定的回答（「とても思う」と「まあ思う」を合わせたもの）の数値目標を上回る高い評価だった。また児童の回答では、全項目について前年度の肯定的回答を上回る回答となっていた。
- ・ A3の「きまりやマナーを守る」については、昨年度より肯定的回答が若干ではあるが増加し数値目標に近づいたことから、さらに児童指導部を中心に生活のきまりやマナーについて意識させていくための工夫改善を行い、全職員で取り組んでいく。また児童自らがきまりの意味を考え、主体的に守ろうとする意欲を高めさせていく。
- ・ A10の「あいさつ」に関しては、保護者・教職員・地域住民ともに評価が低く、児童の評価のみ前年度より肯定的回答が増える結果となっている。これは児童としてはあいさつをしているという意識ではいるものの、あいさつをされる相手側にはあいさつの声が届いていないものと思われる。従って今後はさらに相手の心が“明るく 楽しく 元気よく”なるあいさつの仕方や“心と心をつなぐ”あいさつの意義を再確認させて実践できるよう全教育活動を通して指導を展開していきたい。
- ・ A11の「ことばづかい」に関しては、保護者・児童ともに肯定的回答が増えてはいるものの依然70%台と評価が低い傾向にある。今後も相手を思いやる言動と時と場をわきまえた正しいことばづかいについて指導を重ねていきたい。

6 学校関係者評価

- ・ 保護者の肯定的回答が昨年より13項目で上がり、児童の肯定的回答も全項目で上昇している。これは学校経営の方針に教職員が一丸となって取り組んできた結果だと思う。また、先生方が熱心に指導していることを児童も保護者も理解し、本校の教育活動に対して高い評価をしていると考えてよい。
- ・ 子どもたちは、マナーやルールについて自分に厳しく評価しているようである。
- ・ あいさつの肯定的回答が教職員・保護者・地域住民ともに低いことに関しては、社会全体が他人との会話やふれあいが少なくなっていることと関係があると感じる。
- ・ あいさつは相手の目を見て笑顔ですることが大切である。よく知らない人にあいさつをされても児童はあいさつに躊躇してしまう。小学生の場合は恥ずかしさもあるのかもしれないが、大人の方から絶えず明るいあいさつの言葉をかけていくことが大切だと思う。
- ・ あいさつについては来年度も地域協議会としてさらに支援し協力していきたい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ 次年度も引き続き、「こどもの笑顔が輝く学校づくり」をめざし、教職員の共通理解のもとさまざまな学習や諸活動で一人一人の児童がよさを発揮できるようにし、活気のある明るく生き生きとした雰囲気为学校づくりに努める。
- ・ 日常生活の中で「みんなのやくそく」や「学習のきまり」を活用した指導と、望ましい言葉づかいや相手を思いやる言動などを全校体制で指導にあたり、ルールを守るという意識をより育みたい。
- ・ 学校園のあいさつ運動をはじめ、校内あいさつ運動を児童会の活動をとおしてあいさつのできる児童を育てていく。また日頃から相手に聞こえる声の大きさであいさつできるように励まし声かけをしていきたい。
- ・ 教職員は児童の言葉遣いについてその都度指導してきているが、保護者とも連携をとりながらさらに相手を意識した言葉遣いを推進していきたい。

- ・企業や近隣の高校・大学の専門的な技術や知識を生かした授業や、保護者や地域の方々の積極的な授業への参加など地域の文化財や特色を生かした教育活動をさらに充実させ、地域を理解し地域に親しむ児童を育てていく。
- ・築年数を重ねた校舎設備ではあるものの、校内環境の整備については日頃から施設の点検や迅速な修理の他、教室や廊下の壁面が教育ふさわしい環境になるように努め、教職員も児童と共に清掃を行うなどして自分たちの学校を自分たちでさらにきれいにする意識・態度を育てていく。
- ・「学校だより」をはじめ「図書館だより」「保健室だより」「食育だより」「学年だより」等により、学校の取り組みを家庭や地域の方々にわかりやすく知らせ、さらに理解・協力を得るようにしていく。
- ・豊郷中央小学校地域協議会と連携しながら、地域の人材を生かし地域に根ざした特色ある教育活動を推進していく。
- ・いじめ対策については年2回のいじめ調査をはじめ担任との教育相談を実施するとともに、組織を生かした早期発見と対応に努めていく。またいじめ対策の取組が分かるように「学校だより」等で保護者に周知していく。